

きぼう とよなか

会員数
239会員

火災・救急件数
(10月31日時点)
火災 79件
救急 22,535件



発行
豊中防火安全協会
〒560-0023 豊中市岡上の町1-8-24
豊中市消防局内
電話番号06-6846-8444
発行人 西口 定雄

令和5年11月
vol.184



防火ポスター

令和5年度の 防火作品の入賞作品 が決定しました！

令和5年度秋の火災予防運動行事の一環として、市内幼年消防クラブ園児、市内在住・在学の児童・生徒の皆さんから、火災予防に関する図画や習字を募集したところ、幼年消防クラブの部163点、小・中学校の部、図画838点・習字1,947点のあわせて、2,948点の応募がありました。

9月19日には、防火作品審査会が行われ、市教育委員会の図画・習字担当の先生による一次審査の後、消防局長、北・南・新千里消防署長をはじめ、当協会長及び広報部会員の方々による二次審査の結果、豊中防火安全協会長賞、消防局長賞、北・南・新千里消防署長賞、金賞、銀賞及び銅賞の計70点の入賞作品が決定しました。

習字の部

豊中市消防局長賞



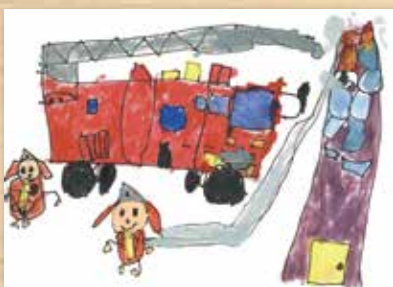
第九中学校 1年
野仲 優月さん

豊中防火安全協会長賞



緑地小学校 5年
上田 真子さん

幼年の部

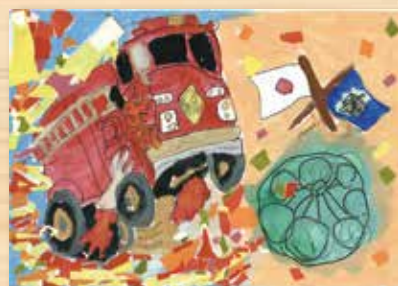


豊中防火安全協会長賞
わかば保育園
川邊 瑛太さん



豊中市消防局長賞
追手門学院幼稚園
須田 菜都美さん

図画の部



豊中防火安全協会長賞
生活介護 児発、
放課後等デイサービス(重心)
Rosetta 柴原 利用者一同



豊中市消防局長賞
第九中学校 3年
豊田 桃子さん



令和5年度 防火作品表彰式



令和5年11月15日(水)、市役所第二庁舎1階市民ロビーにて、防火作品優秀者の表彰式を行いました。

表彰式の対象者は、防火作品審査会の入賞作品70点の中から、豊中防火安全協会長賞(3点)・消防局長賞(3点)・北消防署長賞・南消防署長賞・新千里消防署長賞(各2点)に選ばれた12名のみなさんです。

当日は、12名の皆さん全員にご参加いただき、西口協会長・小倉消防局長・各消防署長から、表彰状と副賞が授与されました。また、表彰式後に、受賞者のみなさんの良い思い出となるよう、北消防署において、消防車両見学と記念撮影を行いました。



西口会長のご挨拶



協会長賞の授与



受賞された皆さんと記念撮影



表彰式後の消防車両見学

北消防署長賞



大池小学校 1年 樋引 晴紀さん

北消防署長賞



熊野田小学校 6年 西田 一加さん

南消防署長賞



豊島西小学校 4年 長谷川 桜来さん

南消防署長賞



高川小学校 6年 福島 穂さん

新千里消防署長賞



泉丘小学校 6年 江崎 翔月輝さん

新千里消防署長賞



東泉丘小学校 2年 山田 莉央さん



小学生

夏の防火防災学習ツアーを実施しました

令和5年7月21日(金)、豊中市・池田市消防指令センターと堺市総合防災センターにて、小学生・夏の防火防災学習ツアーを実施しました。

当日は、市内在住の小学生23名の参加があり、午前中に見学した豊中市・池田市消防指令センターでは、映像通報システム(Live119)の実演等があり、初めて見る指令センター内の緊迫した光景に、子供たちは興味津々の様子でした。

午後からは、堺市総合防災センターに移動し、消防車両や施設を見学したほか、映像運動型地震体験や実際の炎を用いた消火体験、煙暗闇避難体験などを学習しました。

体験した子供たちからは、「地震は本当に怖いと思いました。今日の体験をお父さん、お母さんにも話して災害に備えます。」「いろんな防災のことを教えてくれて、すごく良かったです。また、参加したいです。」「地震、津波、火事がおこると、大変な被害が出て、多くの人が悲しむことになるので、今からできる防災への備えを、家族や友達としようと思います。」などの感想が寄せられました。

今回の学習ツアーは、次世代の地域防災を担う子供たちが、「防火・防災の大切さ」を改めて認識するきっかけとなり、当協会の事業計画に沿った内容でしたので、今後も継続して開催していきます。



全国消防救助技術大会の出場を獲得した「ほふく救出」チームを激励しました!



前列左から3人目 加登副会長・続いて 西口会長・小倉消防局長
前列右から救助服(オレンジ色) 中島副士長、井上消防士、松原消防士



ほふく救出操法(救出開始) ほふく救出操法(要救助者発見)



左から、小倉消防局長、松原消防士、井上消防士、中島副士長

令和5年8月2日(水)、当協会の西口会長と加登副会長が、「ほふく救出」チームの激励視閲を行ないました。

この激励視閲は、ほふく救出チーム(新千里消防署桜井谷出張所 中島 雅也副士長、井上 元樹消防士、松原 庸平消防士)が、7月に行なわれた「消防技術近畿地区指導会」において、出場78チーム中、見事優勝し、8月25日(日)に北海道札幌市で開催された「第51回全国消防救助技術大会」への出場を獲得したことによるものです。

西口会長からは、「気合の入った力強い訓練を拝見し、訓練隊員の皆さんが、これまでの厳しい訓練のなかで、救助技術を磨かれ、災害対応に必要な体力、精神力、チームワークを高めてこられた賜物です。この結果に、満足されることなく、さらなる高みを目指してください。」と激励がありました。

そして、近畿地区の代表として、出場した全国大会は52チームの精鋭が集まる中、10番目の結果で終わりました。

出場隊員からは、松原隊員「全国の消防と競い合い、良い刺激となりました!今後の消防人生の大きな財産になると思います。」中島隊員「全国の消防から多くを学べて、とてもいい刺激をもらいました。」井上隊員「貴重な体験でした。当日は楽しんで自分たちの操法ができました。」の感想を聞きました。

当協会は、引き続き、消防局を応援していきます。

「救急の日 音楽フェスタ」の開催に協賛しました

令和5年9月9日(土)、せんちゅうパル北広場にて、「救急の日 音楽フェスタ」の開催に協賛しました。

当フェスタは、豊中市新千里消防署が主催で、市民のみなさんに、応急手当の重要性や理解を深めてもらうため、9月9日の救急の日に合わせ、AEDなどによる心肺蘇生法の体験や救急タグの配布などが行なわれました。

また、本市出身のピアニストの西村由紀江さんが一日消防署長を務められ、消防音楽隊とのパレードや合同演奏後、豊中市立第十一中学校コーラス部との合唱が披露されました。

来場者からは、「音楽と救命を融合したイベントには、初めて参加しましたが本当に良いイベントで、救急救命の大切さを実感しました。」や「ピアニスト西村さんと消防音楽隊の演奏や中学生のコーラス部の合唱に感動しました。」などの感想が寄せられました。

当協会は、今後も、音楽あふれるまち豊中で、地域の皆様に、救急救命に関する普及啓発と救命力の向上につながる事業に協力・協賛してまいります。



西村由紀江さんと消防音楽隊の合同演奏による市立第十一中学校コーラス部の合唱



一日消防署長・西村由紀江さん



AED取扱説明を受ける西村由紀江さん

消防ふれあいフェスタの開催に協力しました

令和5年11月3日(祝・金)、服部緑地公園西中央広場にて、開催されました「消防ふれあいフェスタ」に協力しました。

消防局が主催の当フェスタは、市内の防火防災に携わる団体と協働で事業を展開することで活力のある地域づくりや安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する目的で開催されました。

当日は、一日消防署長にお笑いコンビ ミサイルマンの西代 洋さん(吉本興業所属)がオープニングで登場し、消防音楽隊の演奏、消防体験コーナーのほか、キッチンカーの出店など、多数の来場者も訪れ大盛況のイベントでした。

また、来場者からは、「子供たちが、より身近に消防の仕事が学ぶことができ、とても楽しかった。」「消防音楽隊の演奏がすばらしく本当に楽しく元気をもらえました。」などの感想が寄せられました。

当協会としましては、今後も消防局とともに、地域の皆様の防火・防災意識の向上につながる事業を推進してまいります。



消防音楽隊ミニコンサート



防災コーナーにて防災グッズ作成体験



消防車両展示



西口会長、ミサイルマン西代氏、桜塚高校生との記念撮影



秋の防災研修会を開催

令和5年10月12日(木)、協会の加入事業所を対象に、事業所の防災教育の一助として、防災研修会を実施しました。

本研修は、災害発生時における応急活動を行うために必要な知識、技術を習得することを目的として、当協会と消防局が共同で実施しているものです。

今回の研修では、22事業所41名の参加者の方々が、救命講習を受講後、実災害を想定した屋内消火栓取扱い、119番通報訓練、安否確認訓練を行ないました。

研修会参加者からは、「救命講習を受けてAED取扱いを学ぶことができ、とてもためになりました。今後は、コンビニや公共施設等の設置場所の有無を確認しようと思います。」、「119番通報訓練で、救急現場や災害現場の状況を焦らず的確に伝えることが、いかに難しいかがわかり、良い経験になりました。」などの感想がありました。



救命講習 AED取扱い訓練



119番通報訓練

今後とも、当協会は、防災研修会を継続して開催し、地域防災力の向上に貢献していきます。



安否確認訓練



屋内消火栓取扱い訓練

防災訓練ハンドブックを発行中

本ハンドブックは、大規模災害時の応急活動のうち、代表的な(1)初期消火、(2)救助救出、(3)搬送法・ファーストエイドを取り上げ、地域みなさんが、身近にある資機材を用いた応急活動の実施方法を学ぶために作成したものです。みなさんが、この冊子を活用して地域や事業所において防災訓練を行っていただくことにより、安全に、また的確に災害時の応急活動を行うことができ、みなさんの大切な従業員やご家族、ご近所の方々を守り、災害による被害を少しでも軽減することを目指しています。

なお、消防局とともに登録を推進している「消防防災協力事業所」にご登録の協会のみなさんに随時、配布しています。未登録で、ご希望の事業所さまは、下記連絡先までご連絡ください。お送りいたします。

豊中防火安全協会事務局 ☎06-6846-8444



本ハンドブックは、豊中市消防局ホームページの [講習 > その他講習](#) に掲載しています。

『消防防災協力事業所登録制度』への登録をお願いします!

近い将来に危惧される、南海トラフ巨大地震のような甚大な被害をもたらす自然災害の発生が危惧されている状況におきまして、常日頃、災害への備えを着実に進めていくことで、事業所の防災力を高め、そして、地域の防災力を向上させるためにも、是非とも登録をお願いします。

消防防災協力事業所登録制度とは

大規模災害(地震・鉄道・航空機災害など)が事業所周辺で発生した場合において、事業主の判断により自主的に自社が保有している人員、資機材を活用して、可能な範囲で災害活動を行っていただける事業所を予め登録する制度です。(労災保険加入を条件とさせていただきます)

当協会では、防災に対する認識が高まり、事業所の防災意識向上に繋がるものと考え『地域貢献支援事業』を立上げ賛同しています。

令和5年10月31日現在、市内308の事業所に登録をさせていただいております。
【お問い合わせ・登録申込先 消防局予防課 ☎06-6846-8445】



住宅防火

いのちを守る10のポイント

冬の寒い季節が近づくにつれて、火災の発生が多くなる時期を迎えるにあたり、様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

総務省消防庁は、日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめられました。

是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。



総務省消防庁

「住宅防火いのちを守る10のポイント」・動画

<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/suisin/10.html>

住宅防火 いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。
日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。

4つの習慣		
	6つの対策	